



こうちしょうぎょうこうとうがっこう

しょうひんかいはいつ・はんぱいそくしんぶ

高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部

～ジビエを通じた循環型社会貢献活動～



高校生ジビエ・レストラン出店



植樹活動への参加

経緯

- 森林率全国1位の高知県ではニホンジカやイノシシなどの野生鳥獣被害が深刻な地域課題の一つとなっている。野生鳥獣の食害被害状況や昨今のハンター不足と高齢化の現状、ジビエ利活用の可能性の話に興味を示した生徒たちがこの課題解決に向け活動を開始する。平成30年4月設立。

取組内容

- 高校生が鳥獣被害という課題解決に向けジビエ利活用商品を開発。
- 消費者からのアンケートをもとに、高知県産の赤牛や規格外野菜を使用したジビエ商品を考案し、高校生ジビエ・レストランの出店により提供。
- 販売利益をシカなどの食害を受けた森林保護活動に寄付するとともに、実際に植樹活動に参加。

活動の効果

- 一連の活動がきっかけで、「森林保護で陸の豊かさを守り、よりよい社会形成の実現に貢献する」という明確な活動目的を、生徒たちが自ら発見することができた。
- 地域での販売会では高校生の頑張りを多くの方に応援いただくとともに、購入者の約80%が「ジビエと高知の有名食材（土佐あかうしや四万十ポーク、四万十鶏など）の組み合わせで、ジビエでも食べてみたくなる」と回答するなど、ジビエに対する抵抗感や先入観を緩和。令和4年度でジビエ利用数量1トンを達成する見込み。

応募団体からのアピール・メッセージ

私たちはジビエ利活用による商品開発・販売活動にとどまらず、その利益を森林保護活動に寄付しています。森林県高知の持続可能な社会づくりに貢献していきます。